



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の特別授業を受講して、原爆のこわさを学びました。表面温度は17000°で太陽よりも熱く、地面の温度も3000°をこえるということを知りました。また、その熱によって体がとけてすべてが灰になってしまうか、ひかりがとけてつらい思いをするかという悪いことしかないというのを改めて感じました。ひかりがとけてしまった人は歩くときもひかりがこまれていたため、手をただぬ前にはからこけるということもまた、「兵隊さん」と力をかりしほめて声を出していることに私には分かりきれないところがあると思うが、つらさを感じました。大間のかたをでけなくなった人をみんな抱いていた兵隊さんもつらかったと思います。

このように原爆をおとると良いことなど一つもなく、悪いことしかありません。原爆を禁止することに賛成している国は、このことを理解しているのだと思います。しかしアメリカやロシアなど大きな力を持つ国が認めないというのをみんなに思いやる認めたくる日か来ることを願っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今までは原爆のことを歴史上の重要なことだと浅く受け取っていました。でも今日の原爆先生の話を聞いてとてもおどろきました。なぜなら実現の画像や映像などを間近で見せてもらったからです。その中でもおどろいたのは、エノラゲイの名前の由来がチベット大佐の母親の名前だったことです。あとは爆心地のそうさくのときに被爆者たちが兵隊さん助けて...と言われても何もしてあげられない苦しさ伝わってきました。また、最後の先生のお父さんのビデオを見たときにお父さんが泣きそうになっていたシーンのことで、そのときのお父さんの気持ち分かり自分も少し泣きそうになりました。原子爆弾は10万人もの人の命を奪ったことを心にとめ、二度と戦争をしない平和な国になっていってほしいと思い、亡くなった人のことを忘れずに、これからも生きていきたいと思いました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

この授業を通して、原爆とはなんのために起  
 ったのか、原爆はなぜ恐ろしいことを知  
 りました。広島市の人口35万人のうち、5人  
 に1人が原子爆弾にふたつとふたつと死んでいること  
 を知りても恐ろしく感じました。広島平和記  
 念資料館に置かれた女性の人の人形の写真、画像を  
 見させてくれた時、「兵隊さん... 助けを  
 願って」といって、その意味がよくわかりま  
 した。大げさなことを痛々しく、兵隊さん  
 の呼びかけを聞く所が想像できなくて  
 悲しく思いました。最後動画を見させてくれた  
 時、本当に原爆は恐ろしいことなの  
 であることを実感しました。今も原爆被害  
 ので苦しんでいる人もいるということも知り、今自分が  
 平和でいられるのも感謝しています。  
 本当に授業を通して本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回の授業では、原爆についてのお話しを理解することかてきました。

義三さんの本の一部を聞くと、  
の大切さを知ることかてきました  
戦争で投下された原子爆弾は  
川ではないことを知り、

核をもちている米、露、英、仏、中、印、伊、パキスタン  
などの核をもちている国にやめをせう  
ように、ゆういつのちはく国である日本  
であるため、平和をよびかへてい  
ても、あかの条約で日本は核防衛条約

に参加していません。アメリカの核の力  
に防りかへているか、こうゆうのに

せきやく的に参加していません。(日本は重要  
な国が参加していませんから、という)

こうゆう条約にせきやく的に参加してほしい  
思う。このお話しをきくと、大切なものを  
できると思っている国にどうにかしてほしいと思う。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

僕は、今の授業を受けるまで、戦争の苦しさを、かなしみをする事はできませんでした。

人が大やけどをおたらひう、かたれさがったり黄色い液がでてきたりしていたのかとてもしょうげきしてきました。原爆先生の父は、それをまのあたりにしたのにもかかわらずいきこいるのがすごいと思いました。

もし自分がそうだったらちがなういなくなると思います。人がたすけてといっているのにたすけられないのがとてもしょうです。戦争はたくさんの人の命をうはうので二度としてはいけないと、あらためて感じました。ほくは、この原爆先生の授業をうけてほんとうによかったと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

先生の話と聞いて、原爆のおそろしさや、  
そして平和の尊さを学びました。そして  
被爆者の思いや願いを知りました。

「兵隊さん…助けて…助けて…」と  
兵隊の人に言う気持がよく分かります。  
高温で体を焼く…という様子の  
被爆者に「助けて…」と言われるが、  
たにもできない兵隊の気持ちも伝わって  
きます。戦争、そして原爆で命を落した  
人々のことをこれから未来へつなげて  
決して忘れてはいけない、ことだと自分は  
思います。また、先生のお父さんの動画を見  
ておもしろく泣きそうになる。その中で  
もう亡くしている戦友、そして被爆者の  
ことを考えると自分も泣きそうになっ  
てしまいました。これから二度と原子爆弾  
という兵器を使うことは絶対に避ける  
なければならない。そして戦争というものは人々の  
平和を奪うことになることも忘れてはならないと

思います。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

今日の受講を通して、原爆の恐ろしさや、戦争にいた人々の苦しきなどを改めて実感しました。1945年の8月6日に起きた広島原爆で約4トンの重さのB29という原爆機が使われたということにおどろきました。約4トンという重さで約7000℃もする球体が人々の上に落下したということ想像するととても恐ろしく思いました。また、爆弾をおとす場所が一番強力だったのが京都だということを知りて京都は人口が900万とでも大都市なため、原爆がおとされてしまつたら想像すると自分の頭にはたたく人々が灰になつていくとても悲惨な光景が浮かびました。しかし、京都に原爆はおとされず少し悔しい思つたが、それ原爆はおわりではなくまたほかにつけて、長崎などにもおとされていくということにとても悲しみや戦っている人の苦しみを痛感しました。また、池田さんの動画をみて、戦争の怖さ、や人を救おうとしてかゝつても救うことのできないという苦しみを実感しました。池田さんが、やけどを負っている人を見てきれいな顔と言っているのを見て、自分は「怖い、かわいそう」と感じたけれど



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

実際に戦争を行った人は戦争の苦しさを知っているからこそ、そのよきなことが「言える」ということを感じました。今の日本の世の中も、戦争でなくても差別な世の中の平和とはいえない世の中であるが、昔の戦争がおきていた時ほど、のものではないと思いました。私は日本の世の中が平和になることを心から願っています。





名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

沖縄県出身の母から私はよく戦争の話を聞いてきました。多くの死体やまもなく息絶える人を踏みながら祖父は歩いたそうです。うでかとして宙に舞っている人もたくさんいたそうです。当時5歳だった祖父は激戦区でなんとか生き延び、祖母は戦中に生まれました。祖母方の親せきには警察官の人がいて、情報を得て激戦区からはまのかげ、戦争の直接の影響で祖母の家族が命を絶つことはありませんでした。戦争といっても地上戦のことですが、その恐ろしさは戦争を体験したことのない私にはもちろん完全に理解することはできませんが、少しでもできる限り理解したつもりでした。しかし、今日原爆先生からお父様の体験談を紹介していただき、戦争戦争といっても原爆の恐ろしさを今まで私が考えていたよりも深く理解できたかと思えます。太陽の表面温度よりも高い温度を、人類が作れることに驚きました。外から火で熱するのではなく、人が入ったことで水が沸くなんて想像しようとしてもできません、人が7000℃まで熱くなることがあるなんて...そうしました。人が、骨も残さず消え去ることなど、考えられません。原爆先生のお父様が、どれだけ辛い、苦しい思いをしてきたのか、私に完全に理解できなくても、少しは分かりました。私も後世へ戦争の恐ろしさを伝え、戦争は今後一切起っては行かないようにと志を伝えて生きていきたい



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今までは原火暴など小さな火暴や弾  
だと思、ていました。た、けど先生の話を  
聞いて、原子爆弾のおそろしさを学びまし  
た。中でもまだいいと思、たことは、  
地、下600mのところて内部の温度が  
100万℃。表面温度が7000℃とい、う  
聞いたことのないほどの温度なので  
とてもおどろきました。太陽の表面  
温度は6000℃で、太陽よりも熱い  
物体が、広島に現れたとい、うことが  
おどろきました。

ほ、くはもう、戦争などしたくな  
い、です。また、先生の話を忘、れず、に  
して平和をなが、い、たい、です。

い、ろ、が、い、ち、あ、り、か、た、う、ご、さ、い、ま、し、た。  
またお、い、て、ま、い、た、ら、合、つ、て、話、を、聞、き、た、い、  
、です。



原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生のお話を聞きました。  
広島で、原爆がおとされて、人々  
が亡くなって、とても悲しいと思  
いました。その方の人々は、とても  
大きなけがをしていて、  
つらいだろうなと感じました。  
ぼくは、それを聞いた時、  
ぼくも、元気よく、生きていか  
なければいけないな  
と感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私はママの普通、ていた学校に行ったこと  
があります。それは長山崎にあり、ぼくしんど  
にとてもちかい学校です。そこで、げんぼくの  
跡や、長山崎の資料館などを見ました。胸が  
い、ばいになるような家のかけらや、割れた  
ビン。血まみれにな、ている服。前ある先生が  
げんぼくに関する本を読んでくれました。  
それは、小さな男の子のもう一つのくつや、持  
ち主をさがしている焼けたメカネなどのストー  
リが書かれているものです。このような時から  
げんぼくは、戦争している時に落された  
など、考えるようにな、ていきました。その時  
に池田さんが広島島のげんぼくについて  
くわしくおしえてください。げんぼくのお  
そろしさや、罪な王人の命をうばうのだと  
より感じることもかできました。思います。  
今日は、教えに来てくださりありがとうご  
さいました。いい体験にな、たと思  
いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくが授業を受けるまでは原爆の恐  
しさを詳しく知らず、甘く見ていました。  
しかし原爆先生の授業を受けてから  
原爆の怖さ、恐しさを知った時の広  
島の悲しい事実を知りました。広島に  
原爆が落とされおおよそ14万人の方  
が亡くなり広島市民の5人に2人  
が亡くなりました。「もしこんな原爆  
が東京で起きたらそう考えるだけで  
全身がゾクッとしみます。日本は原爆を  
禁止する条約に加盟していないこと  
をニュースで知ったので、日本の政治  
にはもう一度考えてもらいたいと思  
いました。今日知った原爆の恐しさ  
などを家族や友人などに言っても  
う二度とこのようなことはおこらな  
いようにしていきたいなと思いました。  
今日は原爆について教えていただき  
ありがとうございます。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

前半のお話は、実際に読んでくださったからでしょうか。手あかのついた表現しかできませんが戦争のおそろしさが伝わってきました。特に原爆。いただいた資料には3mほどしかないのに表面温度が太陽をも上まわ、このことにおどろきました。被爆者は7割。死亡率は4割。実際のことを考えるとゾッとします。

博物館で父さんがしっていたきれいな話、という話。最初は意味が分からないうちに聞いていました。故人である父さんが原爆のおそろしさを伝えるためにとってくれた動画を見てよく分かりました。「本物はこんなものではない」。小意気ですがこのような意味ではなからたでしょうか。本を読んだり、ただただ複製品を見るだけでは得られないなにかを学んだような気がしてなりません。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前と電話番号に記入してください

今日の授業を通して、いろいろなことが学べました。A7で原爆くについて、くわしく学習 することがなく、日本にはくはくをうけた中いっの国というところ、広島と長崎に原爆くがおとされたというところからいしか、頭にきりまててくはく今日、広島と長崎に原爆くがおとされた理由が、当時、本当に原爆くを体験した人の手紙がエピソードを知ることができて、良い経験になりました。また、1つ1つのことについて、とてもいいように説明してくださり、原爆くは、少したたくわくくになることができました。今日のことを、ここからの学習、か生活にいかせられるように、がんばらていきたいと思ひます。約40分間、本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特<sup>じゅこ</sup>別授業を受講して

表

原爆のこわさをについてはそれほど知らなかったけれど、原爆先生の授業を通して、原子爆弾について詳しく知れたと思います。原爆先生の授業で一番おもしろかったことは、原爆をした後にできる空の雲の温度です。外側は17000℃で、中心近くは100万℃になると知りませんでした。

そして、広島県にある平和記念館は平和をいゆる場所かと思ったり、模型や遺品が展示されている所かという事も知りませんでした。

原爆について詳しく知れたのと、仕組みについても言聞かせて頂きたいです。





名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは原爆ドームに行ったことがあったて  
資料館で皮肉がとけたト形をけた  
ことがあつて、とてもゾットしたんを“けど”  
それでもまた“キレすぎる”と言ったのが  
しょうげきで本物はもつとゾットするんだな  
と思って、想像しただけでとてもこわい  
です。原爆先生の言葉をきいてとても  
こわかったけどとても勉強になりました。  
もしまた戦争がおこってもどう  
したかけんたをすくえるか考えて  
みたいと思いました。また今度原爆  
へ行く機会があったら原爆先生の話を  
おもしろくして見てようとおもいま  
した。原爆のおそろしさを教えて  
いただきありがとうございます。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私の姉が学校から代表として、広島に行っていて、文集を作っていて、それを見ていて、私も、原爆に興味をもち、本やマンガや、教科書などで勉強しました。そして、私も今年、広島に行つて、原爆資料館や、原爆ドームを見たかったのですが、コロナで行けなくなってしまいました。私も、知識としては知っているつもりでしたが、原爆先生の言葉は、想像を絶するものでした。エノラ・ゲイが、長崎の母の名だったことも知りませんでした。そして、アメリカの、B29にのっていた人も、原爆のいかに想像以上だったということも、はじめに知りました。そして、実際に、池田忠雄さんの話もきけり、分かりました。そして、話をきいていて、本当に大変で、悲しい出来事だったことが、伝わり、本で見る物とは、また違って、はく力があつた。他人事じゃないことが分かりました。アメリカや他の国では、原爆をいい事と思っている人もいます。町中にきのこ雲の絵がかかっているそうです。もう、原爆をたいした人でもなくなっている。日本だけでなく、外国にも、私たちの世代の人が、伝えないといけないと思いました。

大鐘 綾織



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

ぼくは始め戦争とはどういう事か、  
原爆とはどういう物かをほんの少し  
しか知りませんでした。

だけど原爆先生の特別授業を受  
けた今は戦争とはどういう事か

原爆とはどういう物かを親や友達に伝え  
る事ができるようになりました。

ぼくが一番心に残った事は、

原爆を落とす軍のチベット兵から  
原爆の名前に母の名前のエラケイという  
名前をつけた事です。

ぼくは、たまたま色々と母の名前を  
つけたのには思いました。

理由は相手側には古き人最悪な事ですが、  
チベット兵自身も最悪だからです。

なんでチベット兵自身も最悪かという点、

母の名前をつけた原爆はぼくは母と

母はぼくは母としてよくな感じに思えて

とてもかなしいからです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は券頭に記入してください

10/29

私は、原爆資料館へ行ったことはありませんが、スクリーンでながしてくださった画像で流していただいたのを見て、あの再現している人形を見て「あんな感じなんだ... 痛いだらうに」と思いました。けれど、動画を見ると、「きれいね」と言っていて「え」と思いました。

池田さんたちは、実際に体験しているのです。そのような人形を見てきれいと思えるのだと、感じました。

今日の特別授業を通して、戦争のこわさやおそろしさ、実際にいた人々の苦しみをあらためて実感しました。

私は、今後の未来で二度と戦争のおこることのない平和で幸せな世界になるようにしていきたいなと思います。

おもしろかったです。ありがとうございます。

また、お合点のならば、いろいろなお話をしたりしたいですね。ありがとうございます。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の授業を聞いてみては、戦争のおそろしさを改めて実感しました。理由は、まず、よくは原子爆弾についてくちくち知っておらず、ただ学級にも危険な爆弾としか知りませんでした。ただ原爆先生の授業を聞いて原爆は人の皮膚を比べ、焚き火の場所を比喩する力を発揮しおそろしい兵器というところが分かりました。

原子爆弾は表面温度が1000℃太陽に比べて1000℃も高く中心温度は10万℃と生きているものが絶対には生きられない温度を放射物質というところから分かりました。

最後に、原子爆弾が爆発した瞬間強い爆風が空気が動くように空気がそこから逃げ出すため、その場所が真空状態に近いところになり、爆発が終わったら、空気がそこに入りこんでいるので、熱い空気が発生し、その空気を作りだして戻ることが分かりました。



名前は表紙に記載してあります

## 原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

僕は原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して  
思ったことは原爆は昔から  
人類に害がおよぶのは知っていた  
けれど、今日特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講  
したら、原爆の小布さがまりました。  
最後に原爆先生の父さんのビデオを  
見た時に原爆先生の父さんが泣  
いていたので、戦争の小布さが  
伝わってきました。  
それに、広島県にある平和  
記念公園での作品に「ダメだ  
しみたいなかんじで「あます  
ぎる」と言っていたので  
戦争のひさんが伝わりました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して



名前は裏面に記入してください

ぼくは、戦争については8月6日に広島に原爆が落とされたなどとして塾で学んでいました。それで、原爆先生に原爆投下のことをくわしくまわして原爆のおそろしさを感じました。

先生の交力が音もすごく現実的な音でしたし、説明もすごくうまかったと思いました。

僕が心に残ったのは原爆投下の条件と候<sup>あき</sup>補<sup>おぎな</sup>のことと原爆の熱<sup>あつ</sup>の話でした。

まず原爆投下の条件と候補の話で心に残った理由はアメリカ軍はそういうことを考えて投下したのもすごいですが人の命を危険にさらし、さらしくなってしまうまでしているの僕が原爆が大きいです。

さらにまず戦争すると自体が関係ない人たちまで巻きこんでいした戦争も許せません。最後に熱くてすか、太陽の熱<sup>あつ</sup>がう<sup>あつ</sup>熱<sup>あつ</sup>し、ことにあつてきました。そして、被ばくしてしまひ皮がただれていてひたひたに助けを求めている人を想像すると目に涙がにじんでまてかたしいです。だから悲しい戦争はもう起ってはいけないと思いました。



じゅこ  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆が広島と長崎に何年何月何日に  
落ちたが分かった。

原子爆弾が命や周囲の建物など、  
何もかも全てうばうことが分かった。

「リトルボーイ」落下時の1000m付近の  
表面温7000℃と地面の温度3000℃

ということにおどろき、一番心に残った。

原爆先生のおとうさんが広島市の被爆  
者を助けたいが助けられない苦さが  
伝わってきた。





じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日原爆の授業を受けて、改めて東郷のひんさを学びました。その理由は、もともと原爆や戦争のひんさを知っていたが詳しい解説を聞くことにより、改めて知るきっかけができたからです。

また、原爆の体験の話では、すごい熱風が吹くという話を始めて知り、ひびくとしてこの人の様子は、思っていたよりもひどいという話を話から想像したので、戦争や原爆のひんさやひんさは、思っているよりも強しむという話を知りました。

この話を聞いて、ずっとあはれまていなければいけなく、このようにこしが二度とあはれまはくには、必ず必要があるという話を考えた。他の人にも知ってもらうこしが、すごく大切だとも考えました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前を裏面に記入してください

今までには原爆が"には興味がなく、ただ単に戦争の時、広島に8月6日落とされた。た"けた"思っていました。確かに、情報として拾っていたのですが、本当に体験した人の話を聞いて、思い出すだけでも涙が出てしまうほど"むじかたことだと分かりました。原爆先生に、原爆の温度、落した飛行機、原爆先生のお父様の原爆が落ちた後の9日間について言"きうか"か"い、原爆に対して軽い気持ちで"いた自分か"はずかしくなりました。とても大切なことを教えて下さり、ありがとうございます。でした。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今までは広島と長崎に原子爆弾が世界で初めて落とされて大きな被害を受けたことは知っていました。しかし、原爆によってどうやってきのこ雲ができたのか、B29爆撃機エノラゲイからどうやって原子爆弾が落とされたのかなどは全く知りませんでした。原爆先生の特別授業のことで一番心に残ったことは原爆先生の父が体験した広島での話です。原子爆弾の力は爆震地からかなりはなれていても人がふっとんでしまうくらいあることにおどろきました。また、爆震地の近くで、一瞥になった大けがを負って助けを求めてゆく人はテレビで見たときにもなりました。原爆史料館の人形よりもわかったらと思うと、被爆した人の痛みが伝わってきました。この特別授業を通して戦争というのは絶対にしてはならず、戦争の悲しさ伝えていかなくはならないと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕が理事長の原爆ドームを見たときおはす。そではいろいろ資料を提出するとおっしゃいました。今日は改めて平和について  
考えることでいろいろな感情を抱いた。実際受講してからは戦争音楽的に原爆のことを伝えられ、友人のいろいろな言葉  
を聞いた。予習でやった原爆の危険性やお話しされた。思えば少ない時間だったが、僕にとって原爆先生のお話を  
聞いた存在が思いがたか。戦争を体験し、戦争を体験した人々の平和という気持ちに伝えているので、今回の授業は  
貴重な時間だった。僕は今日、戦争平和について学ぶことができて、90分の受講は僕にとって大切な時間だった。

及川先生は向後が良くて、お話しは戦争が起ると、僕も学習に理解して、お話しは島原の空襲で、お話しは原爆が  
お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。  
悲しい。お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。  
思った。授業中に、お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。  
思っています。お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。

1945年8月9日、原爆が投下された。1945年8月15日、終戦。昭和天皇陛下が御座られた。お話しは投下された。  
9日間は苦痛の日だった。お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。  
無傷で、お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。

17爆弾が投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。  
お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。  
お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。  
お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。

原爆が投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。  
お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。お話しは投下された。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前を裏面に記入してください

今回、お話を聞いて思ったことは、「平和を切り上げる」ということです。お父様。経緯から私が生きる前は、戦争をしていて、平和な世界に産まれた私は戦争の苦しみと平和の大切さがとても感じられました。広島に行ったことがありません。8月6日と8月9日のついで式は、テレビで参加しています。なかなかに戦争、平和について考えることがありません。けれど原爆の苦しみ、大変さ、生きる力をあらためて、思い知らせました。とくに原爆の苦しみは、被爆者がいなくなるとして原爆の苦しみをお伝えする人が少なくなっています。途中で池田さんが私たちに伝えてくれたため私が家族や習事の友達に伝え、原爆の苦しみを伝えていきます。平和は難しいと感じました。国民は平和を願っていても、国が戦争をやる言ったらやらなければならぬ。そんな行来違いがおこらないよう。私はこれから生きていこうと決断しました。そして戦争がなくすべての国が栄え、悲しい町にならないよう世界がずっとめでたければならないと思います。原爆と戦争は、世界のおおきなあやまちだと思っています。原爆は、もう世界にあるべきではないもの強く言うと絶対にダメです。そういう日本も、原爆を受けた国として、伝えていかなければならない。そして、世界に実現しなければ意味がないと思う。

今回は、宮前小学校に足を尋ねていただきありがとうございます。ございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

一発の火暴弾で、何人もの命、たくさんの家や  
たてものか"なくなってしまう。そんな戦争はとてこわい  
と思った。話を聞いていて「こわい」と感じた。  
話を聞いていてきょうふをかんじるのに、実際に  
戦争を見た人達は、それ以上のきょうふを感じて  
いたのだと分かった。戦争のときのことを語っていて  
なみだがあふれてしまう原爆先生のお父さんの  
気持ち少し、わかった。目の前に死体や死に  
かけている人が大勢いたら、自分はどうなるだろう  
戦争で"どのくらいの人か"泣いたのだ"だろうか。  
戦争の苦しみ、悲しみは、もっと色々な人に伝えたい。  
戦争を見た人は、もう高れいになってしまっても、  
次の代、その次の代に戦争の事を伝えなければと  
感じた。もっと私も、本などを読んで、戦争を  
知りたかった。そして、原爆先生のお父さんの気持ちも、  
もっと理解したかった。もう二度と戦争を  
してほしくない。もうこんなにたくさんの方が、  
戦争で苦しんだり、とくなってほしくない。  
戦争について知る機会があつてよかった。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

10 / 29

「きれいすぎる」と池田義三さんが発した言葉、そこには、どんな気持ちがあったのか。広島に落とされた原爆、私は知っていました、けれど、その全てを知っている分ではないし、巻き込まれてしまった人々、それを助けようとする軍人の方の気持ちもいままでは全く知りませんでした。けれど今はもう、全てではないけれど、知れたような気がします。

1945年(昭和20年)8月6日の事を知って、原爆を落とす全ての条件と合った広島には、「リトルボーイ」という原子爆弾が落とされ、千さんの人々の命がうばわれた。いっしょにして亡くなった人々は、最後に言い残すことなど言えなく、ただ本当(=いっしょで「死」という恐れるやみのルーレット)のみでまわってしまい、何もいえない屈辱さを味わったのだと知りました。

また、命はつまず、もうそで死がやってくる、でも生きたいと思う人間とは思えぬ姿でいた人々、きっと私達は一生味わうことのないひどい苦しみを体験したのだと知りました。

そして最後には、助けたいと思っても助けることのできないみじめさや言葉にはあわづめ苦しみや悲しみを見て体験した軍人の方々の「ほりさけそうな思い」を知ることができました。

池田義三さんのビデオを見て、あふれる涙から、私たちが平和に生きてゆくことのできる奇跡、尊さを今までにないほど実感し、そして何より池田義三さんが体験した事実は、これから必ずとすると、語りつかなければいけないことだと思いました。

広島平和記念資料館で発した池田義三さんの「きれいすぎる」という一言にはきっと、広島に落とされた原子爆弾で命を失った人々、そして、被爆者の方々の、広島原爆から59日間禁に過ぎた仲間の思いや、経験が詰め込まれ池田義三さんが見た現実を発した一言だと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回は、原爆の事を教えてくださり、ありがとうございました。私自身、長崎出身で、小学校1年生の時に原爆についてのお話を聞きました。

その話を聞いて、とてもこわくなり、夜もねむれません。私の祖父も、原爆の被爆者です。しかしながら、当事者だった祖父は何も覚えていないそうです。ただ、何かが、光ったことだけは覚えているそうです。池田さんのお話を聞いている時、長崎で聞いた話と比べながら聞いていました。お話を聞いている時、その当時の事を想像していました。やはり、改めてこわくなり、鳥肌がとまりませんでした。

池田さんのお父さんのビデオを見ている時、泣いているお父さんを見て、心がいたくなりました。もし、自分が、そのような状態だったら、と想像もできません。

この授業を受けて、原子爆弾のおそろしさを身にしみて感じる事ができました。私も、人分の子供にも、この話をして、ずっと心からきえることのないようにします。このコロナの中、本当にありがとうございます。





原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生にたくさんのお話を学びました。  
僕達は、戦争に巻き込まれた事がありました  
だからこそ、僕達が後 していかなければいけ  
ません。 戦争の苦しみ、悲しみ、痛み、恐怖が  
少し分かった気がします。特に、恐怖では、  
「ブーン」「グワーン」と、声で演出していて、  
みんな怖くて、ふるえていました。  
ここまで学んだ恐怖をくり返さないうえ  
ルにずっと反省をしたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは原爆の動画を学童で見たことがありましたが、その動画の中になんで黒い雲がわきあがって黒い雨がふったのかなど疑問がありました。ですが黒い雲ができるのは上昇気流がおこるみなとが水蒸気といっしょに上にのぼっていたからなのだとわかったのです。

また、ぼくは原爆がおこったときに水の中においた人は水がふっとうしてたすからず郵便局のトイレにいた人が無傷であったことが一番心に残りました。ぼくは戦争を実体験をしたわけではなくてわかりませんが先生の授業をきき原爆の怖さがすこしわかった気がします。ぼくは原爆が怖いものだと実感したので世界の核兵器が全部なくなればいいと声をあげる人をおうえんしようと思いました。

先生の授業を聞いて社会の授業が少し深まることのできたので感謝射しています。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回は原爆について教えてくださりありがとうございます。  
広島や長崎が候補になった理由は平野であり空襲がなかったとして直径5kmを超えるなどの条件があったなんて知りませんでした。原爆を落とそうとした所が6カ所あるなんて知りませんでした。さらに天候なども配慮しているなんて知りませんでした。京都が一番推されていたなんて知りませんでした。しかも京都に原爆が投下された理由が人間に大事なものを破壊してはならないという理由だったのでそこまでアメリカが配慮していた事をおどろきました。広島に投下された原爆は4秒と聞いてもその爆破力はすごかったものだと思います。しかも340m/秒よりも速い440m/秒だと聞いておどろきました。被爆者は広島県全体の60% 死者数は40%もあるのです。5人に2人死亡してしまうという事が分かります。

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> [post@hiroshima9.com](mailto:post@hiroshima9.com)

ぼくは今回の授業を聞いて戦争に興味がない人も原爆のことは少し耳をかたむけてほしいと思います。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は昔のことは分かりません。戦争のこともまったく知りません  
でした。でも授業を受けて、戦争のことがなんとなん  
分かった気がします。池田先生の話を聞いていて、体のやけ  
どの時少しづつがロイロと思いはした。でもお父さんの  
辛さが分かります。広島の方々が死ななくてはい  
れなかった。もしその場にいたら、自分まで死んでしまっても  
しれません。7000℃の太陽よりあつい爆弾が  
落ちました。ものすごく怖いです。私は池田先生から  
お話を聞くまえから、どうして戦争をするのかという  
疑問に思っていました。戦争のせいで沢山の人が死  
んでいきました。戦争原爆のせいで、原爆症という病  
もできました。池田先生のお話を聞いても、と思いはした  
やけど死んだり、原爆症で苦しんだり、見ていなくて  
聞いていた人が、ソッとほろ。池田先生が最初に  
言っていた、「7000℃の少年」の意味が分かりました。池  
田先生から聞いたことを、家族にも話したいと思ひ  
ます。社会の学習にも生かして、これから社会の  
勉強もがんばり、戦争のことをもっと知ろうと思ひ  
ました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

単戈争の苦しみや、悲しみを原、火暴先生のおかけ  
で学べたし、原、火暴先生の父さんの動画を見  
て単戈争って本当に悲しかったなと思いました。  
単戈争のことについてもっとききたいなと思っ  
たし、単戈争のことについてまうみかもちまし  
た。原、火暴先生の表現のしかたがとてもうまく、  
わかりやすかったです。また、きかいかあれば  
単戈争の話しをしてもらいたいです。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

原子爆弾の怖さも、原子爆弾のことを学んで、いい勉強  
 になりました。特別授業を受講して、とても印象に  
 残った事が、2つあります。1つ目は、原子爆弾をおとす  
 場所の候補に横浜があつたことです。もし、横浜に、  
 原子爆弾がおとされていたら私の祖父母が被害にあつてい  
 たかもしれせん。もし、祖父母が被爆者だったら、  
 私にも影響があつたかもしれせん。「もし」、「もし」と  
 考えると、とても怖いです。2つ目は原爆先生の父様  
 のお言葉の「すばい」という言葉がとても印象的でした。  
 私は、平和記念館の中にある被爆者の人が「怖かったけど、お父様  
 の一言で、実際は、もっと見にくい人で、間近に見ると、私がいそ  
 ぎしているより、もっと悲惨な光景だ」と思います。  
 私の祖父母は、空襲によって、左の手がなくなつてしまったと祖父から  
 聞いたことがあります。祖父は戦争に行つて命を落としてしまつて  
 います。実際に戦争を体験した人が家族に居るからこそ、私は、この8月  
 6日の日のことを、次の世代につたえていき、これから、こゝろに悲惨な  
 戦争は二度とあつてはいけなことを思ひました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は第面に記入してください

私は、歴史授業が"とても辛い授業"。しかし、今回の特別授業を受けて過去の誤りを繰り返さぬように、歴史を学ぶ必要があることを痛感しました。先生のお父上の体験談を聞き「助けたのに助けられなかった」と想像しました。学校で困っている人には手をさしの"なま"と言われ、そのと"おりにさしの"と他人を苦しめ絶叫して、"これはどうやって受けたらいいか"と。先生のお父上は、それで仕事を終わらせ、人々を助け、後世にまで自分の体験を伝えていこうとすることを思いました。

先生の話の中で"心に残っている"とは二つあります。

一つ目は、人間であるけれど人間ではない様子だということ。私の想像力では、そこまで想像しきれなかったけれど、自分の知っている人々が、愛している人々が"とせ"た"おとなのかはたして人間なのか"がわからなくなると、"とせ"た"おとな"を考えると、ゾッとします。またお父上は"助けた"女の人の体には"うじ虫"が"わいて"いたと"いう"ことにもゾッとしました。生きながら"とせ"た"体の一部が死体のよう"になってしまふ"と思うと原爆のおそろしさを痛感しました。

二つ目はお父上が"原爆資料館"で"発した"言葉"についてです。私には何が"ま"か"おとな"かは分かりません。お父上の"目"には何が"見えて"いたのかと深く考えさせられました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は原爆というものは、広島と長崎にお  
とされた、というぐらいの知識しかお  
しませんでした。しかし、今はとくに残留放射  
線の怖さが少し分かるようになりました。  
実際の様子も想像がつかず。  
広島や長崎以外にも色々な都市が  
候補になっていたこと、原爆の核部分  
は100万ともあること、死亡率は40%  
で、一瞬でなくなってしまう人は2万  
人もいること、これらは私たちが後世  
にも伝えないといけないと思いま  
した。またこのおな悲劇をおこさな  
いたために対策をするにも情報  
を知るといふことは、よく機会に  
思います。この度は誠にありが  
うございました。またお話を  
お聞きしたいです。





原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、戦争のおそろしさがあつたためであかり  
ました。ぼくは戦争にいったこともない、ずい  
づいだけおそろしいのが分からなかつたけど、  
原火暴のこゝろなどを覚えてくださったおかげ  
で戦争法にどつちがよいかと分かりま  
した。

ぼくは原火暴のお話をきいてぞつとしました。  
原火暴が"おちくるだけ"で"な人が"おそれて  
死んでしまうと思つたぞつとしました。

ぼくは広島には行つたことも原火暴を見  
たこともないけれど"あつたため"でこん  
なまけな"と分かりました。

また戦争や原火暴のこゝろを覚えてよかつた  
であつた。

また知事が"あつた"原火暴など"のこゝろ  
を学んでみたいです。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回の授業を受けて、被ばく者のおじいさんが「どんな思いの中、軍事作業を行なったか、また、どんな風景だったのかを確実に分かった訳では無いけど、ほんとなく、わかれたような気がします。また、おじいさんのビデオを見ていて、どんなにうろかったのかかわかり、戦争を二度とくり返してはならないから、今後世の中をひっぱっていく人たちに伝えていかなければならない」ということがわかりました。火玉を取るときには、「なんで広島、長崎に原爆が落とされたか」「おじいさんの上空の様子はどうな風景だったのか」などを知らなかった。私はおじいさん、戦争も原爆に興味があった。積極的に知ろうと思っただけで、小布だったのですが、学校という場を通って、この様なことを知れたのは、とてもラッキーなことだと思います。おじいさんの思いだけでなく、いろいろな物を通じて知った私の原爆についての知識を次の世代のかたがたに伝えて、「日本の平和」いや「世界の平和」にこうやって打たれよいかと思います。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

平和であるこの日本があたり前、私がそう思うしまうのも、全て戦争で立ち直ろうとして下った兵士さんのおかげだと思っています。ら、過去が明るく、未来へ変化していくことを深く考えさせられる授業でした。

この平和を「粉砕砕身」の思いでつくってくださった方に、感謝申し上げます。気分です。

また、池田さんのお父様が泣かれていたように、自然と涙がこぼれてきました。記念館で撮られているものは、それを実体験しないと分からないものは「しりた」と思います。そして、それを体験していない私たちが、体験したような場所や年代をあたえてくださったことで、人生を振り返る機会になりました。

これからも、この授業を通して戦争と平和について向き合っていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回、この授業を学んで、分かったことがたくさんありました。それは、原子爆弾が投下され、たくさんの死者や被爆者がいたところでした。今まで、ぼくは、こんなにも死者やけが人がいたということを一回も考えたことがありませんでした。だけど、今回の授業で、はじめて、その本当のことがわかりました。こんなに、貴重なことを聞けるなんて、おどろきだなと感じました。今日もらったこの資料は、とても自分の役に立つと思うので、大事にとっておきたいと思います。今回、授業で、習わなかったよしぞうロードマップは、今度、じっくり見せ売伏学校の歴史の授業で、すらすらすらすと答えられるようにしておきたいと思います。この授業のありがたさは、必ず忘れません。今回は、本当にありがとうございました。また、学校に来て、いろいろなことも教えてくださいたいです。

レロ



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくはあんまり戦争などのことをあまり知らなくて、  
勉強になりました。

ぼくで印象に残ったのは、原子爆弾の温度と爆撃機のエノラゲイです。

原子爆弾の温度は太陽よりもあつかったことですが、ぼくは太陽が一番あついと思っていましたけど、それよりも爆弾のつがあつたからです。

エノラゲイは、その飛行士のお母さんだったからです。その飛行士は死ぬ気だを覚悟したからその名前にしたのかと思いました。

最後は少しわかったけど、いまだ原爆のおそろさが伝わり、昔の人の気持ちがい伝わりました。